

生涯学習の推進に向けた「市民講師」の育成と活用

—新たな「市民講師」の開拓を意識した取組を通して—

生涯学習支援課 森本 英己

要 旨

社会が複雑化多様化し、少子高齢化が進行し、人生 100 年時代と言われる中で、生涯学び続けることはもちろん、市民の豊かな知識や経験を社会に還元し、循環させていくリカレント教育の場の提供が生涯学習を推進していく上で強く求められている。そして、学習意欲をもった高齢者の増加を前にして、個別のニーズに応じた多様な学習機会の創出の全てを行政が担うことが困難な状況の中、「市民講師」の育成が生涯学習推進上の重要な課題と言える。

そこで、小稿では、本課が実施する講座における昨年度からの取組状況を整理し、「市民講師」の開拓と育成、今後の効果的な活用について、講師の意見も踏まえつつ今後の講座運営について検討した。

キーワード：「市民講師」の開拓，育成，効果的な活用

I はじめに

生涯学び続けることに生きがいや喜びを感じ、積極的に学びを深めようとする人々が年々増加傾向にある中、全国では、「市民講師」と呼ばれる講師が各地の生涯学習推進機関と連携し、個別のニーズや団体等に応じた多様な学習機会を創出している。「市民講師」という言葉のはっきりとした定義は見当たらないが、全国の生涯学習推進機関では、それぞれ「地域における生活、趣味、文化、教養、スポーツ等の生涯学習活動の推進を図るため、市民に無償で指導しようとする人」（愛知県犬山市）、「自ら培った専門的な知識、技能、経験を地域に生かし、市民の生涯学習活動を積極的に応援してくださる方・市民の生涯学習のきっかけづくりのために活動してくださる方」（千葉県我孫子市）、「市民のみなさんの『学びたい・やってみたい』にこたえる『教えたい・伝えたい』講師」（岐阜県各務原市）と定義付けし、生涯学習を推進している。

徳島県立総合教育センター生涯学習支援課においても、「市民講師」を「自分の持つ専門的な知識や技能等を広く県民の皆様方に還元していただける方・講座を通して地域における生涯学習のリーダーを育成し、家庭・地域の教育力を再生することを目的として講座等を実施していただける方」と捉え、生涯学習推進に向け、「マナビィセンター主催講座」や「ファミリー体験学習推進プロジェクト」、「『父親力』ルネサンス推進講座」、「孫育て楽しみ隊講座」、「女性のためのスキルアップ講座」、「新未来とくしま講座」、「とくしま“ひと・まち”づくり実践講座」等の多くの講座を開催しており、それぞれ講座の目的や特色に沿った多彩な講師陣の選出に努めている。

本課が実施する各講座の講師には、大学関係者や研究者等、各方面での講師経験が豊かな方がいる一方、自分の知識や技能を周囲の人々や地域社会に役立てたいと考えながらも、なかなかその機会に巡り合えない方等様々ではあるが、中でも「新未来とくしま講座」と「マナビィセンター主催講座」においては、できるだけ経験の少ない新たな「市民講師」を開拓して活動の場を提供すると

ともに、地域の人材育成につなげることを意識した取組を進めてきた。また、各講師には、今後の活躍の場の提供や生涯学習の広がりを目的として「まなびーあ人材バンク」への登録を勧めてきた。

しかし、今後も、県民の学ぶ意欲はより高まりを見せ、学びたいテーマも多種多様化してくることが予想され、本課主催の各講座の充実のためには、より多彩な「市民講師」が必要になってくるものと思われる。

そこで、このような本課の各種講座における昨年度からの取組状況を踏まえて、「新未来とくしま講座」における「市民講師」の開拓と育成、今後の効果的な活用について、講師の意見（アンケート）も加味しつつ検証し、今後の講座運営のための指針を確認することとする。

II 講座講師選出の流れ

本課では、「マナビィセンター主催講座」や「ファミリー体験学習推進プロジェクト」、「『父親力』ルネサンス推進講座」、「孫育て楽しみ隊講座」、「女性のためのスキルアップ講座」、「新未来とくしま講座」、「とくしま“ひと・まち”づくり実践講座」の講座において、各担当者が講座の目的やテーマに合った講師を選出している。

講師選出に当たっては、ニュースや新聞、各種広報誌等の記事に紹介されている方、以前講師をしていただいた方や大学・県関係者等から御紹介いただいた方、徳島県立総合大学校「まなびーあ徳島」が運用する「まなびーあ人材バンク」や「とくしま学博士」に登録されている方から候補を挙げ、課全体、そして、センター全体での協議によって決定し、その後各講師に打診している。

講師依頼の要件を伝えると、即答で講師をお引き受けくださる方、しばらく悩まれる方、お断りになる方等様々であるが、担当が講座計画時に選出した候補の中で決定することがほとんどである。

そして、講師が確定後、事前の打合せを重ね講座本番を迎えるが、講座終了後は、講師が「市民講師」となり、その深い学びを今後も広く県民の皆様方に還元して欲しいとの願いで「まなびーあ人材バンク」への登録をお願いしている。

「まなびーあ人材バンク」とは、県内の自治体・民間企業の職員等の専門的な技術や知識を有効活用するために人材を登録、インターネット上で公開し、講師を依頼できる仕組みとして徳島県立総合大学校「まなびーあ徳島」が運用しているものである。

「新未来とくしま講座」や「マナビィセンター主催講座」をはじめとする本課主催の各講座での講師には、講座終了後もその専門的な知識や技能を「市民講師」として広く県民の皆様方に還元していただけるよう登録を勧めている。

また、「女性のためのスキルアップ講座」や「孫育て楽しみ隊講座」、「『父親力』ルネサンス推進講座」等、講座を通して地域における生涯学習のリーダーを育成し、家庭・地域の教育力を再生することを目的として実施している講座においては、講師だけでなく、講座の修了者を指導者として登録し、学習成果を社会で発揮できる機会を提供している。

平成 29 年度から現在（令和 2 年度 2 月現在）までの登録件数の推移は表 1 のようになっており、大幅な増加は見られないもの

表 1 「人材・指導者」、 「団体・サークル」の登録件数

の、毎年講座終了後に快く登録を承諾してくださる講師の協力もあり、少しずつではあるが登録者数も増えているという現状が見られる。

年度	教育振興計画数値目標	人材・指導者情報登録件数	団体・サークル情報登録件数	年度合計
H29	990	480	512	992
H30	1,000	492	512	1,004
R 1	1,010	504	510	1,014
R 2	1,020	513	510	1,023

Ⅲ 「新未来とくしま講座」を捉え直す

1 徳島県立総合大学校本部主催「新未来とくしま講座」の概要

総合教育センター生涯学習支援課（学習情報班担当）は、徳島県立総合大学校本部事務局の役割を担っており、その中の主催講座の一つとして「新未来とくしま講座」がある。講座は、年間16講座（前期8講座・後期8講座）実施され、徳島の文化・自然・くらし等をテーマに毎回それぞれの分野の専門家を講師としてお迎えして講座を進めてきた。

令和元年度と令和2年度の2年間における全受講者は2,857名（1講座あたり平均約92名）であり、その約70%を近隣の徳島市、鳴門市、板野郡からの参加者が占めた。

また、受講者の90%以上が60歳以上と平均年齢が高いことから、講座開催に当たっては要約筆記を準備する等、誰もが学べる環境となるよう文字情報を提供できる体制を整えながら実施している。受講者の多くは、各回とも講義を聴きながら熱心にメモをとったり、講座終了後の質疑応答では積極的に講師に質問を投げかけたりする姿が見られるなど、地域に密着した学習を通して、「ふるさと徳島」のすばらしさを再発見できる講座として県民に親しまれている（図1）。



図1 講座風景

(1) 講師選出の観点

「新未来とくしま講座」における講師選出は、本県が進める政策の基本的な方向をまとめた最上位の総合的な計画である『『未知への挑戦』とくしま行動計画～徳島版『SDGs（持続可能な開発目標）』の実装に向けて～』の中にある「行動計画（5つのターゲット）」を柱に、受講者からのアンケート（「受講したいテーマ」）に綴られた声を加味した講座テーマを決定することから始まる。その後、決定したテーマに沿って講師候補を選出し、課内・センター内で協議を重ねて各講師を決定、その後それぞれの講師に打診、という流れで行っている。



図2 講座パンフレットの表紙・講座内容（R2前期）

図2は作成したパンフレットである。また、令和元年度から令和2年度の2年間の講座テーマ・講師（表2）、各講座と「行動計画」との関連（表3）は次のようになっている。

表2 「新未来とくしま講座」 テーマ・講師

<令和元年度>

日	講 座 テ ー マ	講 師 (所 属)
6/8	世界農業遺産・にし阿波の挑戦～MIYOSHIから起こす新たなムーブメント～	中川 敬司 (前徳島県立池田高等学校副校長)
6/22	見直そう、守ろう、活用しよう、とくしまの自然～ウミガメから見た徳島の海と海岸～	田中 宇輝 (日和佐うみがめ博物館カレッタ学芸員)
7/14	AwaBlueConnection ～青で繋がる徳島の魅力～	永原 レキ (inBetweenBlues (海辺の藍染スタジオ) 代表)
7/27	徳島の挑戦! 「阿波地美栄」 倍増の取組み	平島 聡一郎 (徳島県農林水産部鳥獣対策・ふるさと創造課副課長)
9/1	伸ばそう!!健康寿命～寝たきりになんかならない～いきいきと長生きする為に～	正木 香都子 (ACSM EP-C (米国スポーツ医学会運動生理学士))
9/7	避難所運営の基本を考える～助かった命を皆で守ろう～	武市 義雄 (防災士・とくしま学博士)
9/21	懐かしいふるさとの家庭料理・郷土料理～地域の気候風土が育てたふるさとの味～	高橋 啓子 (四国大学生生活科学部教授)
9/28	元オリンピック選手と呼ぶのは日本だけ	源 純夏 (シドニーオリンピック競泳銅メダリスト)
10/20	古武道を通して徳島の素晴らしさを見つめ直す～徳島に伝承された柳生新陰流の移り変わり～	戸村 博史 (NPO 法人徳島県古武道協会理事長)
10/26	健康寿命を延ばそう! ～いつまでも元気に長生き, 健康体操～	水貝 淳 (きたじま田岡病院リハビリテーション科作業療法士)
11/9	やればできる “ごみ・ゼロ社会” ～持続可能な地球・地域社会を目指して～	笠松 和希 (プラチナ構想ネットワーク特別会員)
11/16	防災情報をうまく使って身を守ろう! ～実はわが町にも迫っている豪雨災害・・・でも大丈夫～	楠木 英典 (気象防災アドバイザー)
11/23	みんなの宝物 吉野川河口の自然や生物～その多様性を未来の子どもたちへ伝えたい～	井口 利枝子 (とくしま自然観察の会世話人代表)
12/1	みんなで楽しむバラスポーツ～徳島県内の障がい者スポーツの挑戦～	山本 恵美 (NARUTO 総合型スポーツクラブクラブマネジャー)
12/14	～徳島・那賀町へ, ようこそ～ドローンで町を PR して人を呼び込む! 【中止】	喜多 幸治 (一般社団法人地域おこしドローン社代表理事)
1/11	買い物難民を救え! ～移動スーパーとくしま丸～	荒川 伸太郎 (株式会社とくしま丸執行役員 SV 部長)

<令和2年度>

日	講 座 テ ー マ	講 師 (所 属)
6/20	ダニによる病気のはなし～知ることがあなたを守る～	馬原 文彦 (馬原医院院長)
6/28	剣山の自然を守る! ～野生動物との付き合い方～	森 一生 (徳島県西部総合県民局環境担当)
7/4	四国遍路の特徴とその宗教的意義～同行二人やお接待文化の原点～	谷口 真梁 (四国霊場第二十二番札所平等寺住職)
7/19	見にくいんだけど, どうしたらいいの? ～眼科治療とロービジョンケア～	四宮 加容 (徳島大学眼科講師)
7/25	多良良インディゴーズの挑戦～藍栽培・食藍・沈殿藍の可能性～	川添 将史 (多良良インディゴーズ代表)
9/13	吉野川は昔, 徳島を流れてなかった?!?! ～ジオ (大地) から見る私たちの歴史文化三好市・東みよし町編～	殿谷 梓 (三好市役所産業観光部ジオパーク推進室ジオパーク地質専門員)
9/19	～徳島・那賀町へ, ようこそ～ドローンで町を PR して人を呼び込む!	喜多 幸治 (一般社団法人地域おこしドローン社代表理事)
9/26	災害への備え～災害とは何か・・・まずは知ることから始めてみませんか?～	川西 誠子 (徳島赤十字病院看護師長)
10/18	災害時のトイレ, どうしたらいいの?	金井 純子 (徳島大学理工学部助教)
10/24	地域ぐるみで取り組む「きゅうりタウン構想」～キュウリ栽培に若者を呼び込め!～	原田 正剛 (徳島県南部総合県民局<美波>農林水産部 海部プロジェクト担当)
11/7	義経はなぜ阿波を駆け抜けたか～歴史を生かした「地方創生」を考える～	石尾 和仁 (徳島県立文書館館長)
12/13	コウノトリ, 野生復帰へ!!～私たちにできることは何か～	柴折 史昭 (特定非営利活動法人とくしまコウノトリ基金理事・事務局長)
12/27	「とくしま林業アカデミー」とはこんなところだよ!～めざせ!山の仕事師～	野々瀬 佳嗣 (公益社団法人徳島森林づくり推進機構課長補佐)
1/9	「食」の力で健康長寿～何をどれだけ食べたらいいの?…家族の食事を見直してみましょう～	里見 かおり (徳島赤十字病院栄養係長)
1/23	徳島県の恐竜化石をもっと発掘!さらに発見!	辻野 泰之 (徳島県立博物館学芸係長)
1/31	次世代型水産業へのチャレンジ～水産業が人気職種になるために～	早川 尚吾 (株式会社リブル代表取締役)

表3 各講座と「行動計画」との関連

『未知への挑戦』とくしま行動計画～徳島版『SDGs（持続可能な開発目標）』の実装に向けて～
 行動計画編（2019年～2022年）「4年間で取り組む重点施策」5つのターゲット

「4年間で取り組む重点施策」5つのターゲット		R 1		R 2	
		前期	後期	前期	後期
【ターゲット1】未来へ雄飛！「笑顔とくしま・県民活躍」の実装					
重点戦略1	移住交流拡大！深化する地方創生		⑦	⑦	②
2	学び直しを支援！「リカレント教育」本格展開				⑤
3	人生100年時代！健康寿命延伸へ「フレイル対策」展開	⑤	②	④	⑥
4	県民総自己実現！「ダイバーシティとくしま」の推進				
5	次代へつなぐ！少子化対策の推進				
【ターゲット2】未来へ加速！「強靱とくしま・安全安心」の実装					
重点戦略1	未知なる災害を迎え撃つ！「事前復興」の推進	⑥			①
2	国土強靱化を牽引！「災害列島」から「安全安心列島」へ		④	⑧	
3	「命」と「健康」を守る！地域医療提供体制の充実強化				
4	みんなで守り育てる！「安全安心な地域づくり」の推進		⑧	①	
5	野生鳥獣との共生！適正な関係構築と利活用の推進	④			
【ターゲット3】未来へ挑戦！「発展とくしま・革新創造」の実装					
重点戦略1	全国を先導！第4次産業革命の実装				
2	千載一遇！攻めのインバウンド誘客	①		⑥	
3	世界へ雄飛！進化する徳島ブランドの展開	③			⑧
4	世界スタンダード！徳島未来教育の創造				
5	ポスト東京オリパラ！経済好循環へ			⑤	
【ターゲット4】未来へ発信！「躍動とくしま・感動宝島」の実装					
重点戦略1	世界に誇る！「あわ文化」の創造と継承	⑦	①	③	③
2	世界へ飛躍！「スポーツ王国とくしま」新次元の進化				
3	目指すは世界標準！「スポーツレガシー」の創造と継承	⑧			
4	共生社会の実現！障がい者スポーツ・芸術文化の深化		⑥		
5	新次元！文化スポーツ施設「グレードアップ戦略」の展開				⑦
【ターゲット5】未来へ継承！「循環とくしま・持続社会」の実装					
重点戦略1	脱炭素社会実現へ！「緩和策」と「適応策」の推進				
2	新時代を先導！再生可能エネルギーの社会実装		③		
3	自然との共生！「生物多様性とくしま戦略」の展開	②	⑤	②	④
4	徳島発！持続可能な行政手法の発信				
5	近未来とくしま！「東京オリパラ」から「大阪・関西万博」へ				

※①～⑧は講座の回を示す

(2) 振り返り－講師へのアンケート調査から－

令和元年度から令和2年度における「新未来とくしま講座」の全31名（1名は講師の事情により中止）の講師を対象に、講座後に次の項目でアンケート調査を実施した。調査には25名の講師が回答してくださり、それぞれの質問に対する回答結果は次のようになった（表4）。

表4 講師へのアンケート（質問と回答結果 ※質問項目は一部抜粋）

<p>質問1. 「新未来とくしま講座」の講師をする以前に講師として講義等をする機会があった。</p> <p>1. 多くあった（11名） 2. 数回程度あった（12名） 3. 一度もなかった（2名）</p> <p>質問2. 「新未来とくしま講座」の講師を経験する以前に、「新未来とくしま講座」のような一般県民を対象とした講座の講師として講義等をする機会があった。</p> <p>1. 多くあった（5名） 2. 数回程度あった（15名） 3. 一度もなかった（5名）</p> <p>質問3. 「新未来とくしま講座」の講師をお引き受けいただいた主な理由は何ですか。 【理由】</p> <p>質問4. 「新未来とくしま講座」当日のご自身の講義についての感想をお聞かせください。（講義内容全般や自分の思いを十分発信できたか等）</p> <p>1. 満足（9名） 2. やや満足（13名） 3. やや不満（3名） 4. 不満（0名） 【感想】</p> <p>質問5. 【1の質問で1・2を回答された場合】</p> <p>今まで経験された講座（一般県民以外が対象）と、一般県民を対象とした講座では何か違いを感じましたか。（手応えや、やりにくさ等）</p> <p>1. 強く感じた（4名） 2. 若干感じた（13名） 3. あまり感じなかった（6名） 【理由】</p> <p>質問6. 「新未来とくしま講座」の講師を経験したことで、今後も一般県民を対象とした講座等で「市民講師」として講義を引き受けても良いという思いは高まりましたか。</p> <p>1. 非常に高まった（9名） 2. 若干高まった（14名） 3. あまり変わっていない（0名） 【理由】</p>
--

① 経験豊富な講師の回答から

講師のほとんどは、「新未来とくしま講座」で講師を務める以前に、何らかの講座において講師を経験した方であった。しかし、その多くは、医療関係者であれば医療従事者を、防災関係者であれば県や市の防災担当者や地域の自主防災会員を対象とするなど、受講者もその分野の専門家に限られたケースがほとんどであり、県民一般を対象とした講座で何度も講師を務めた経験のある講師は5名であった。そして、各講師が、事前に講座の趣旨を理解した上で講師を引き受けた主な理由（表4の質問3）、県民一般を対象とした講座の講師を経験した感想（表4の質問5）として次のような声が寄せられた。

質問3 講師を引き受けた主な理由

<ul style="list-style-type: none"> ・自分の取組を広く県民にPRし、将来への展望について考える貴重な機会になると判断した。 ・救急講習の講師経験はあったが、災害に関する一般向けの講師に初めて挑戦してみたかった。 ・藍に対する取組について、既存の農家や藍関連産業とは違う取組をしている自負があり、それを多くの県民に伝えたいと思った。 ・県民の皆様に地域が守るべき大切な歴史文化、自然環境についてお話しできる貴重な機会だと思った。 ・社会貢献が必要だと感じた。 ・県民に広く自分たちの活動を理解してほしいと思った。 ・徳島県にもこのような埋もれた文化や素晴らしいものが残っていると分かって欲しかった。 ・自分の住んでいる地域（県南部）では数回程度講師の経験があった。今回の機会に県西部の皆様にも自分の取組について伝えることのできるよい機会だと思ったから。
--

質問5 一般県民を対象とした講座の講師を経験した感想

- ・専門用語を無意識に使用していたことや、一般の方に理解しやすく話をする事、また、スライドの工夫がもっと必要だったのではないかと考えさせられた。
- ・内容が盛りだくさんとなり、もっと精選すべきであったと反省する。
- ・質問に十分に答えられなかった。しかし、受講者からの意見や質問を聞き勉強になった。
- ・大ホールでの講演経験はなく、思うように説明できなかった。
- ・年配の受講者が多く、「80年近く生きていて知らなかった、ありがとう」等の嬉しい言葉をいただいた。逆に、自分の知らなかったことも諸先輩方から教えられ非常に有意義な機会となった。
- ・質問は出ないであろうと考えていた。しかし、説明が不十分なところや分からないところはしっかりと質問され、自分の講座の説明不十分な部分を再認識することができた。
- ・質問が多く県民の皆さんの防災に対する関心の高さを実感した。今後も進んで引き受けたい。
- ・受講者の姿勢から、徳島のすばらしさを知りたいという熱意を感じることができた。
- ・一般の方に知っていただきたいことが少しでも伝えられて新鮮だった。
- ・今までは、あまり講師を依頼されることがなく残念であったが、貴重な機会を与えていただき感謝している。この機会を機に、自分の取組を発信できる第2弾・第3弾の機会を与えていただきたい。
- ・会場を去る際に受講者から声をかけていただき、講座の感想等を聞くことができた。その際、自分の話す内容が少しでも県民の役に立つのであればできることは喜んで行いたいと思った。
- ・「一般住民の方々への防災に関する普及啓発を図る」という私の使命の一つを行うのに、大変良い機会であったと感じる。

講座を引き受けた理由を見ると、各講師の「自分の研究や活動についてもっと伝えたい」、「県民に広く知ってもらいたい」等の強い思いが伝わってくる。また、講師を経験した感想からは、一般県民を対象とした講座に対して多少の難しさを感じつつも、今回の反省を今後のスキルアップにつなげようとする前向きな思いを持てたことや、受講者の熱心さに感銘を受け新鮮さを感じた等、この経験が非常に貴重な機会であったと感じていることがうかがえる。また、同時に、今後もこのような県民を対象とした「市民講師」として活躍の場を広げていきたいという思いが高まりを見せていることが分かった。

各分野のエキスパートであり講師経験の豊かな講師にとって、自分の専門分野において、しかも、その分野に強く興味を持つ方のみを対象とした講義等において研究や活動の成果を発表することは大いに意義を感じることであろう。それゆえ、そのような講師にとって、「市民講師」として広く一般県民を対象に講義を行うことは、あまり興味や魅力を感じないことなのではないかと心配していた。しかし、アンケートの回答から、「新未来とくしま講座」のような一般県民を対象とした講座の講師を引き受けていただく機会や場を進んで提供することが、新たな「市民講師」の開拓や育成につながっていくことを実証することができた。

② 講師経験が初めての講師の回答

表4の質問2において、一般県民を対象とした講座の講師経験が【一度もなかった】と回答した5名の講師には、個別に質問を実施し、「新未来とくしま講座」での講師を経験したことによる変化の部分に着目した調査を実施した。

表5 講師へのアンケート（質問と回答結果 ※質問項目は一部抜粋）

<p>質問6. 「新未来とくしま講座」の講師を経験したことで、今後も一般県民を対象とした講座等で「市民講師」として講義を引き受けても良いという思いは高まりましたか。</p> <p>1. 非常に高まった（5名） 2. 若干高まった（0名） 3. あまり変わっていない（0名） 【理由】</p> <p>質問7. 「新未来とくしま講座」の講師経験以降、何らかの講座等での講義、広報誌やTV等での紹介等、今までと変化がありましたか。</p> <p>1. 非常にあった（2名） 2. 若干あった（3名） 3. あまり変わっていない（0名）</p> <p>質問8. 初めての講師を経験されての感想をお書きください。 【感想】</p>
--

どの講師も初めての講座に際して強い不安を抱いていたようであるが、「新未来とくしま講座」での講師を経験したことによって、満足感や達成感とともに大きな自信を得たようであった。表5の質問6や7の回答を見ても分かるように、今後も「市民講師」として広く活躍したいとの思いが非常に高まっているとともに、講師経験を機に、「TV や新聞の特集で紹介された」、「全国の関連誌で特集された」等、メディアの取材に積極的に応じて自分の研究や活動について幅広く発信しようとしたり、「講演を頼まれる機会が増えた」等、講師を積極的に引き受けたりする姿も見られ、飛躍的な成長を見せていることが分かった。

また、5名は表5の質問8に対して次のように多くの感想を綴っており、初めての講師経験に際して様々な思いがあったことが伝わってきた。

質問8 初めての講師を経験した感想

- ・ 講座を通して自分の経験や考えを伝えることが楽しいと感じた。
- ・ 本当に自分の活動や気持ちを精一杯伝えることのできる素晴らしい機会だった。
- ・ 今後もこのような機会があればぜひ引き受けたいと思う。
- ・ 講座終了後は、県民に活動を発信できた達成感、今までの活動が認められた満足感、何より受講者からのお褒めの言葉をいただき、講座に向けて長い時間準備してきた良かったと思った。
- ・ 受講者の皆さんの徳島の素晴らしいところを知りたいという熱意に感動した。
- ・ 受講者の皆さんからの多くの感想をいただいた。その言葉にも励まされ、今後もこのような機会に恵まれればと強く感じた。
- ・ 自分の活動を振り返る良い機会となった。自身のスキルアップにもつながったと思う。
- ・ 講座を担当したことで、受講者からの意見等を伺い、現在の県民のニーズは何か、自分たちの活動に足りないものは何か等、今後の活動の方針を得ることができた。
- ・ 緊張したが、大勢の受講者の中で自分の取組を説明できる貴重な機会だった。講座終了後、私の情熱が強く伝わったとの感想をいただき非常に嬉しかった。

各講師とも講座で自分の研究や活動について発信することをうれしいと感じ、それを受講者が熱心に受け止めてくれることに対して格段の喜びを感じていることがうかがえる。また、講師経験が自分を一回り成長させ、今後、より意欲的に研究や活動を進めていこうとする気持ちも強くなっていることも分かる。

また、「新未来とくしま講座」では、講座終了後に受講者へのアンケート調査を毎回実施し、その代表的なものを講師に伝えている。5名の講師に対して受講者から寄せられた感想

には「笑顔いっぱい、しかも大きな声で話をしてくれて感じが良かった」、「今まで様々な講演を聞いてきたが、このようなテーマは初めてで特に素晴らしかった」、「若いパワーを感じ、講師先生の取組に将来性を強く感じた」、「今までに学んだこととは全く違った視点の話で興味津々で聞かせてもらった」等、講師の講座に臨む姿勢を賞賛する声、講師の研究や活動の方向性に感動する声、また、何より今後の活動を強く期待する声が多く寄せられており、経験が少ない講師にとっては、このような意見も自信を高める一つの要因になったと考える。

今回実施した講師へのアンケート調査から、経験の有無や回数に関係なく、「市民講師」として活躍する機会や場を提供することが大切であること、また、新たな「市民講師」の開拓という視点では、今までに講座経験の少ない講師をできるだけ多く発掘し、講義という場を提供していくことが大切であることを実感することができた。そして、「新未来とくしま講座」をきっかけとして、講師の伝えたい届けたいという情熱が受講者に伝わり、講師の自信や今後も「市民講師」として講座に臨もうとする姿勢を高めることができたことから、「市民講師」の開拓と育成という点において、「新未来とくしま講座」の果たすべき役割は十分担っていることを実証することができた。



「伸ばそう!!健康寿命~寝たきりになんかならない~いきいきと長生きする為に~」



「古武道を通して徳島の素晴らしさを見つめ直す~徳島に伝承された柳生新陰流の移り変わり~」

IV 成果と課題（今後の効果的な活用に向けて）

「市民講師」の開拓や育成には、様々な分野の講師に活躍の場や機会を提供し、実施に向けた支援を行うことが必要であること、また、新たな「市民講師」開拓という視点では、今までに講座経験の少ない講師を発掘し、選出していくことが大切であることを述べた。しかし、「市民講師」の効果的な活用の部分には未だ課題が多い。その課題としては、次に示す3点が挙げられる。

1 「まなびーあ人材バンク」活用に向けての効果的な広報

「新未来とくしま講座」終了後も、各講師が「市民講師」としてその深い学びを広く県民に還元して欲しいとの願いから「まなびーあ人材バンク」への登録をお願いしている。令和元年度からは全19名の講師に登録いただいたが、その後人材バンクを活用しての講師依頼はほとんど無いのが現状である。各講師が、今後も「市民講師」として継続的に活躍の機会が得られるよう、人材バンクの活用に向けた効果的な広報について検討していく必要性を感じている。

2 「市民講師」の効果的な活用のための講座の実施方法や形態の工夫と広報

「新未来とくしま講座」の受講者は高齢の方が多く、講座後の各講師からは、「より若い年齢の受講者が増えればいいと感じた」、「世代の偏りがあり若者を取り込む仕掛けが必要だ」等の声が寄せられた。また、受講場所である総合教育センターに県南部や県西部から参加するのは難しいという現状も見られる。今後、講師の効果的な活用を図るためには、その活躍ぶりを幅広い年代や県下各地の受講者に伝える機会を充実させていく必要があると考える。

「新未来とくしま講座」では、講座風景をDVDに録画して視聴や貸出を可能としたり、まなびーあ徳島が運営する「インターネット放送局」で自由に視聴できるようにしたりする等、広く県民が受講できるシステム自体は存在している。しかし、それもあまり周知されていないのが現実であり、今後それらのシステムの積極的な広報が必要だと感じている。また、令和2年度10月からの後期講座においてはサテライト会場を開設し、県西部でも講座の受講が可能となるように改革を進めてきた。今後は、その回数や会場数を増やし、より広い範囲に、また、より多くの方へ講座を発信したり、講座のテーマによっては、県内の高校や大学、専門学校等に働きかけ、より幅広い世代の受講者を獲得したりする仕掛けが「市民講師」の効果的な活用のためにも必要になってくると考える。

3 「市民講師」の活躍の場をつなぎ広げる

ある講師より、「ドローンによる地域おこしの話をしたが、できれば受講者で興味のある方々に実際にドローンに触れていただければより理解が深まるのではないかと。聞くだけでなく、一歩進んで体験まで可能な講座になってほしい」との貴重な提案をいただいた。確かに、令和元年度からの講師陣の顔ぶれや講座内容を振り返ると、座学中心である「新未来とくしま講座」の内容から一歩踏み込み、実際に見たり触れたり等の体験的な講座につなげ発展させることが可能なものも多く存在した。一例として、本課が実施する体験を中心とした家族向けの講座である「ファミリー体験学習推進プロジェクト」や、地域の担い手の育成を目的とする「とくしま“ひと・まち”づくり実践講座」の講師として活躍の場をつなげたり、県下の関係諸機関と連携し、別の講座等における講師に広げたりする等、「市民講師」として自分の学びを継続して発信し続けられる環境を作っていくことは、今後ますます大切であると感じた。

V おわりに

新たな「市民講師」の開拓と育成を意識した取組について述べてきた。各講師へのアンケート調査やヒアリングの意見を集約してみると、開拓と育成という部分においては、一般県民を対象とした講座の場を積極的に提供していくことで一定の成果が得られることが分かった。今後も、受講者の欲するテーマやその時々々の旬の話題等を敏感に捉えつつ、「市民講師」として活躍してくれるであろう講師に関する情報を絶えず集めていく必要性を強く感じた。今後、総合教育センター生涯学習支援課が実施する各講座が、県民の生涯学習活動をより充実させるとともに、より多くの「市民講師」の選出や効果的な活用、また、有機的かつ循環的に機能させる役割を十分に果たせるよう、課題を解決しながら各講座での運営を続けていきたい。